

令和元年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>【住み続けることができる安心安全な地域づくり】</p> <p>災害に強い安全な地域を構築するとともに、多様な世代が安心して元気に住み続けられる丹後の実現に取り組みます。</p>	<p>① 早急な災害からの復旧・復興とともに、ソフト・ハード両面から防災・減災対策に取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年台風 18 号による災害、平成 30 年 7 月豪雨などからの復旧を早急を実施 （府公共土木災害 892 箇所 約 85 億） （林地被害復旧（治山事業） 34 箇所 約 9 億） ・ 国道 178 号等地域幹線道路の強靱化のための取組を推進＜対象区間 6.6km＞ ・ 各市町等関係機関と連携し、災害情報収集力を強化するとともに、防災リーダー研修の実施や災害危険情報の住民への周知など、地域住民の防災意識を向上させる取組を支援 ＜防災リーダー研修会等参加者 170 人＞ ・ 山地荒廃に起因する土砂流出を伴う災害を防止するため、山林から海まで水系一貫となる土砂災害防止対策を推進 ＜河川浚渫 10 箇所、砂防 6 箇所、急傾斜 7 箇所、森林整備（間伐等）35ha、治山事業 11 箇所＞ ・ 危機管理型水位計の設置や浸水想定区域図作成を推進し、洪水時の円滑かつ迅速な避難を支援 ＜危機管理型水位計設置 6 箇所、浸水想定区域図作成 4 箇所＞ <p>② 働く世代の健康づくり事業への支援を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職域健康出前講座や「きょうと健康づくり実践企業認証制度」認証取得奨励等による企業の健康づくりを支援＜出前講座による健康づくり支援企業数 3 団体＞ ・ 丹後地域の死因第一位であるがん及び糖尿病や高血圧を中心とした生活習慣病の早期発見・早期治療・重症化予防の取組を推進＜がんの予防・早期発見・早期治療の啓発 3 回＞ ・ がん診断から治療までを一体的に実施できる北部医療センター「がん診療棟」の整備を推進 <p>③ 将来にわたる、安心・安全な水道水の供給体制を構築できるよう取組を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府内全域の水道事業の方向性を示す「京都水道グランドデザイン」に基づき、丹後管内の水道事業者の経営基盤強化に向けた取組を推進 ・ 府域を三つの圏域（南部・中部・北部）に分けて設置される「広域的連携等推進協議会」において、広域化・広域連携に向けた検討を推進

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>④ 高齢者・障害者が安心して暮らし、地域の支え手として活躍できるよう取組を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共助型支援推進隊による圏域会議の開催や市町職員等への研修実施など、生活支援整備体制を支援 ・ 授産製品のブラッシュアップを更に進めつつ、販路開拓に取り組み福祉サービス事業所の工賃アップを支援<ブラッシュアップによる新商品開発 3商品> <p>⑤ 地域全体で子育てを支える仕組みづくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丹後地域における子育てに関する相談機関や子育て支援を行う団体等のネットワークづくりの推進<参画する構成諸機関・団体数 10団体> ・ 今年度中に整備される病児・病後児保育施設を活用し、療養中の子どもやその保護者支援に取り組む市町を支援

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>【稼ぐ力の強化による産業振興】</p> <p>海の京都構想の更なる深度化を進め、観光コンテンツの発掘・ブラッシュアップに取り組むとともに、関係団体等と連携し、ものづくり産業や農林水産業など、丹後の地域産業の振興を図ります</p>	<p>① 「海の京都」の魅力を掘り起こし、新たな魅力創出や産業活性化を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域周遊観光を促進するため、城崎から天橋立までの臨時快速「城崎・天橋立ダイレクト」の利用促進に努めるとともに、新たに停車することとなった「夕日ヶ浦木津温泉駅」をはじめ天橋立～城崎温泉間の誘客促進<城崎・天橋立ダイレクト号利用者数 1, 012人> ・ 「自転車」を活用した観光事業等の取組を支援するとともに、宮津市及び与謝野町を巡る自転車道の愛称制定や案内表示等の整備を推進<片道ライドツアー実施数 5コース> ・ 産業活性化の基盤となる山陰近畿自動車道及びアクセス道路の整備推進 <p>② 昨年度、ユネスコ世界ジオパークネットワーク（GGN）の再認定を受けた、山陰海岸ジオパークについて、府県市町と連携し、魅力の発信を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジオトレイルコースを活用したトレイル体験等による魅力発信<トレイルコース整備率 100%> ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携した事業の推進による機運醸成<連携事業 3件> ・ ジオパークエリアにある海岸松林の整備とジオパークの景観を活かした体験学習の実施<整備箇所：1箇所、体験学習 1回10人> <p>③ 丹後地域の自然・文化・歴史の発信による観光誘致等を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「世界遺産」登録を目指す天橋立の松並木保全や海岸清掃、阿蘇海のカキ殻回収等住民やボランティアと連携した環境改善活動を推進<海岸清掃参加者数 800人> ・ 丹後の海岸の魅力を保全するため、市町村が行う海岸漂着物対策を支援 ・ 丹後地域で認定されている日本遺産構成文化財について、市町等と連携しながらその魅力を全国に発信<地域外でのイベント等を活用した日本遺産魅力発信数 3回> ・ 上宮津天然スギ保全活動に取り組む地域団体と協働し、巨樹群の歴史と保全環境について調査し、資料等を収集・展示するとともに、森林・林業体験等を実施<体験活動 3回、100人> <p>④ 「丹後ちりめん創業300年事業」等を契機とした丹後地域の産業・文化の発信を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丹後織物工業組合や各市町と連携し、地域に根付く織物産業の振興を目指した新たな販路開拓や新商

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>品開発、人材の確保、地域内住民団体等と連携した和装振興等の取組を推進 <和装産業に新たに携わる人 25人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済団体等と連携し、京都経済センターとオンラインで結んだテレビ会議システムを活用した人材育成研修を実施 <p>⑤ 丹後の食の魅力づくり、ブランディングの確立を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丹後国営開発農地でのブランド野菜品質向上と資源循環型農業の構築 ・ 道の駅 丹後王国「食のみやこ」を核にした丹後の海・山・里の食材の魅力発信に携わる人材の育成 <食関係人材・観光人材の受研者数 47人> ・ 丹後の農産物や丹後ばらずし等の加工製品の販促活動を府南部等地域外の量販店で展開するとともに、丹後産品販売店で農業者参加型の産地 PR の実施、農福連携活動の PR 等販売強化 <量販店への出展回数5回> ・ 丹後産コシヒカリの「特A」の奪還（③⑩ A評価） <丹後産コシヒカリ 特A評価取得> ・ 実需者である食関連企業ニーズに対応した丹後国営開発農地の営農確立のための技術支援、加工業者との連携支援及び意見交換の実施<意見交換実施回数 5回>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 丹後広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>【地域を支える人材の確保・育成】</p> <p>地域企業と連携した人材の確保・育成を進めるとともに、未来の丹後を担う人づくりを推進します</p>	<p>① 移住・定住の推進による地域の担い手の確保に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町や関係機関と連携し「丹後移住・定住推進会議（チーム丹後）」による移住・定住に係る情報共有の実施＜移住希望者対応数 900人＞ ・ 兵庫県但馬県民局や中丹広域振興局と連携した、先輩移住者等による移住セミナーやふるさと暮らし体感交流ツアー等の開催＜移住セミナー、暮らし体験ツアー参加者数 60人＞ <p>② 地域産業の将来を担う人材確保のため、商工会議所・商工会等と連携し、企業の人材確保力を強化します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業向け実践型採用活動セミナーの開催による人材確保力の強化＜セミナー参加企業数 80社＞ ・ 丹後企業の魅力を売り込むため、大学訪問や大学内での企業説明会等の開催、管内高校生を対象にした管内合同企業説明会の開催による人材確保＜高校卒業後地域内で就職する人の割合 50%＞ <p>③ 新たな文化を創造する次世代の人づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若手アーティストが丹後に滞在し、地域住民と交流しながら丹後の自然や歴史・文化を作品として表現する、京都府アーティスト・イン・レジデンス事業展覧会「大京都 2019 in 京丹後」を実施＜参加者数 7,500人＞ ・ 地域の活性化を図るため、祭事の担い手不足等地域が抱える課題に対し、地域住民、市町及び地域外の大学生ボランティアと協働した活動を実施＜協働支援回数 4回＞ <p>④ 地域の子ども達に、社会の一員として「明日の丹後」を担う意識の醸成を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達に将来の夢や目的意識、挑戦する意識を高めるため、丹後に縁のある著名人等の講演を開催＜講演参加人数 200人＞ ・ 地域の産業の一つであるものづくり等への関心を高め郷土への誇りと愛着を醸成するため、企業等と連携して小中学生を対象とした出前講座等を実施＜実施数 20講座＞

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。